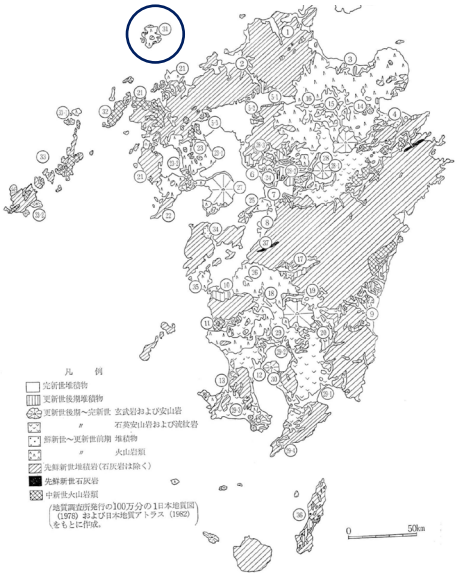
31.壱岐島



地形・地質

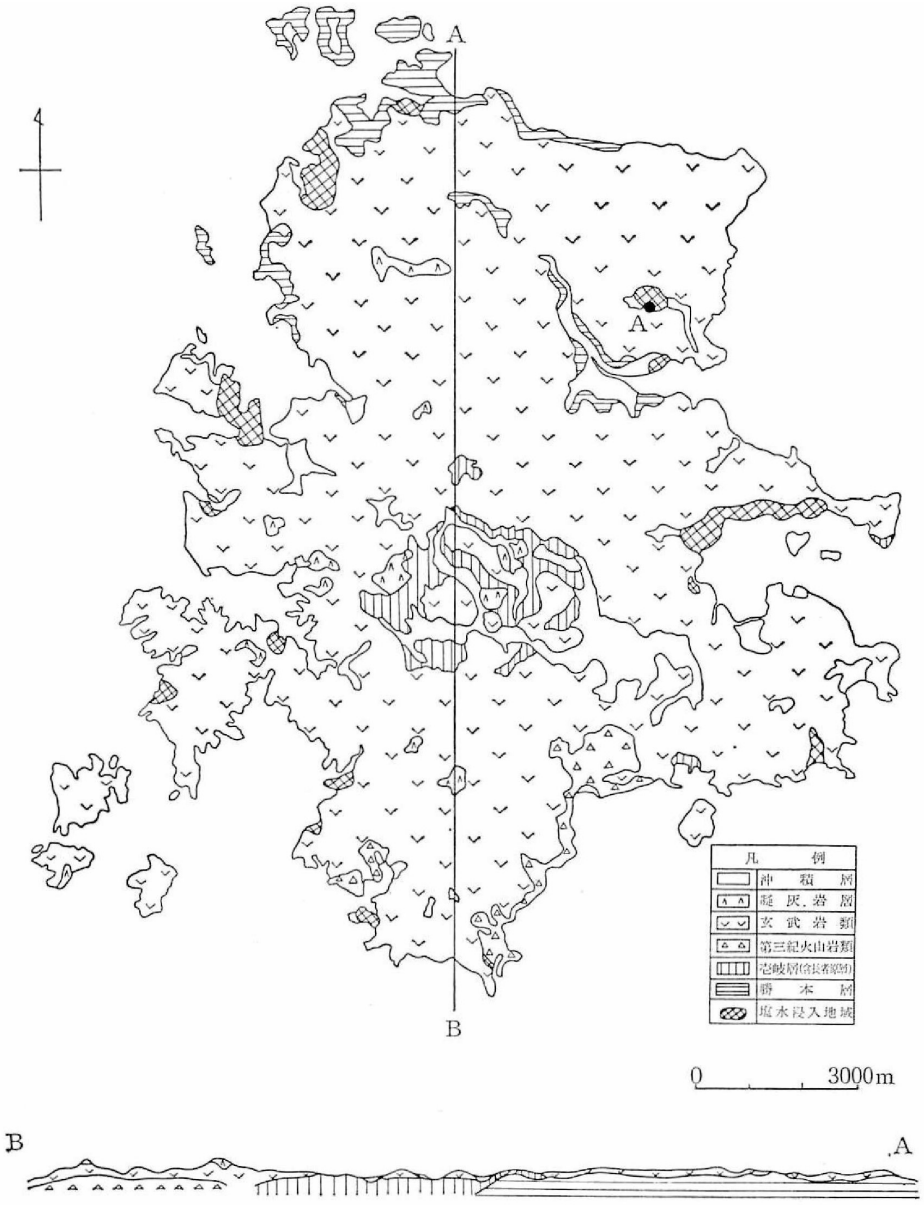
壱岐島は面積 139km^2 を有し，第三紀の堆積岩の上位に更新世の玄武岩類がほぼ全域に分布し，完新世に活動したと思われる小規模な噴石丘が点在しています。

地下水

地下水は主として玄武岩類から取水されていますが，壱岐層や勝本層からも若干取水されています。

壱岐島の地質層序表

地質時代	地層名	層相	摘要
第四紀	沖積層	砂，粘土，礫	谷底低地や河川沿いの低平野に分布する。河床堆積物からなる。
	玄武岩類	多種類の玄武岩溶岩	亀裂の発達した層相，赤紫色に風化した層相が重なっている。壱岐島の主要な帯水層
第三紀	火山岩類	安山岩，流紋岩	島の南部を中心に小区域に分布
	壱岐層	砂岩，泥岩，礫岩，凝灰岩等	未固結の地層で島の中央部に広く分布
	長者原層	珪藻土層	島の南東部に小区域で分布
	勝本層	砂岩，頁岩の互層	島の北部に分布する。壱岐島の基盤岩で，地下水は開発不可



壱岐島の水文地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）